

JPA 登録選手・登録ジムへアンチドーピングに関するお願い

2022/7/12

日本パワーリフティング協会会長 古城資久

平素より日本パワーリフティング協会（JPA）に御協力いただき有難う御座います。

皆様ご存知のように、JPA は日本スポーツ協会（JSPO）、日本オリンピック委員会（JOC）加盟団体であり、アンチドーピング活動を真摯に行っている国内スポーツ統括団体（NF）です。アンチドーピング活動は WADA（世界アンチドーピング機構）の制定した WADA code（世界アンチドーピング規定

https://www.playtruejapan.org/entry_img/wada_code_2021_jp_20201218.pdf）に基づいて行われておりますが、2021 年の改定より規定 2.10 「競技者又はその他の人が特定の対象者と関わること」の罰則が厳格化されております。

「特定の対象者」の解釈は WADA code をご参照して頂くこととして、JPA 関係者はドーピング行為の疑われる人やドーピングテストの行われていない競技の関係者とスポーツに関係する場で交流を持たない事が望ましいと考えます。

近年、特定の関係者と疑われかねない方によるトレーニングセミナー、パーソナルトレーニング、サプリメント販売が散見され、アンチドーピング活動の逆風になることが懸念されております。JPA は以下の要綱を JPA 登録選手・審判・役員・登録ジムに要望します。

1. WADA code2.10.に謳われる特定の関係者及び特定の関係者と疑われるもののトレーニングセミナーを開催しない
2. 特定の関係者及び特定の関係者と疑われるもののトレーニングセミナーに参加しない
3. 特定の関係者及び特定の関係者と疑われるものにトレーニング指導を受けない
4. 特定の関係者及び特定の関係者と疑われるものが販売に関与

するサプリメントを宣伝しない、購入しない、使わない

ドーピングはスポーツの価値を破壊し、JPA 関係者にとっては最も忌むべき行為です。その行為が疑われかねない事象から JPA を遠ざけ、万一にもドーピング行為を始めるきっかけを作らない事は JPA にとって大切な行動だと考えます。

アンチドーピング精神を遵守し、新しく競技に入ってくる若い人や知識の不足する人が、万一にもドーピング行為に手を染めない様、JPA 関係者は十分な注意を払いましょう。

JPA は関係各位の良識に期待しております。以上宜しくお願い申し上げます。